

水道事業評価(令和6年度)

担当課

上下水道総務課

1 事業情報

目指すべき 方向性	持続	基本政策	6 経営基盤の強化	施 策	6-2 組織能力の向上	事 業	6-2-2 人材の育成
--------------	----	------	-----------	-----	-------------	-----	-------------

2 事業評価の概要

項目	内容																																																																							
基本政策	将来にわたり安定した水道事業を継続していくために、経営資源を効果的に活用し、健全な財政状況のもと、組織能力・組織体制を強化し、中長期的な視点に立った経営を行います。																																																																							
事業目的	重要なライフラインを担う水道事業体として、資格取得や外部研修への参加を奨励するとともに、職員間で知識や技術を共有することにより、各事業に関する専門的な知識等を有する職員を継続的に育成し、将来にわたって水道事業を維持、継続していくために必要な専門的知識および技術の継承を図ります。																																																																							
取組内容、数値 目標及び スケジュール (単年度)	・局研修計画を継続して実施し、研修への参加を促進します。 ・職務に必要な資格取得を奨励します。 ・BPRを実践し、職員一人ひとりが日常的にBPRに取り組む風土の醸成を図ります。																																																																							
期間	令和6年4月 ~ 令和7年3月																																																																							
予算額 決算額	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">予算額</th> <th colspan="3">決算額</th> <th>執行率</th> </tr> <tr> <th>単位:千円</th> <th>総事業費</th> <th>収益的支出</th> <th>資本的支出</th> <th>総事業費</th> <th>収益的支出</th> <th>資本的支出</th> <th>単位: %</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費計</td> <td>1,165</td> <td>1,165</td> <td>0</td> <td>744</td> <td>744</td> <td>0</td> <td>64%</td> </tr> <tr> <td>工事費</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>原材料費</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>賃借料</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1,165</td> <td>1,165</td> <td></td> <td>744</td> <td>744</td> <td></td> <td>64%</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>972</td> <td></td> <td></td> <td>972</td> <td></td> <td></td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>	予算額			決算額			執行率	単位:千円	総事業費	収益的支出	資本的支出	総事業費	収益的支出	資本的支出	単位: %	事業費計	1,165	1,165	0	744	744	0	64%	工事費	0			0				原材料費	0			0				委託料	0			0				賃借料	0			0				その他	1,165	1,165		744	744		64%	人件費	972			972			100%
予算額			決算額			執行率																																																																		
単位:千円	総事業費	収益的支出	資本的支出	総事業費	収益的支出	資本的支出	単位: %																																																																	
事業費計	1,165	1,165	0	744	744	0	64%																																																																	
工事費	0			0																																																																				
原材料費	0			0																																																																				
委託料	0			0																																																																				
賃借料	0			0																																																																				
その他	1,165	1,165		744	744		64%																																																																	
人件費	972			972			100%																																																																	

3 中間評価(事業の進捗状況)

執行状況	上半期執行額	517千円	事業進捗度	B 予定どおりの進捗
	上半期執行率	44%		
進捗状況	・異動等により新たに上下水道事業に携わる職員に対し、上下水道事業職員研修を実施しました。 ・研修の参加を促進し、延べ15人(9月末時点)が12講座の外部研修に参加しました。 ・BPRを実践する職員(9名)を選出し、課題解決に向けて取り組んでいます。			

4 終了時評価(事業の達成状況)

達成状況	・職務に必要な資格については、7人が資格(給水装置工事主任技術者4人、石綿作業主任者1人、エネルギー管理企画推進者2人)を取得しました。
	・有料研修の実績については、延べ27人が20講座を受講し、水道事業体の職員としての見識を広げました。
	・職員(9名)が前年度の実践職員などからアドバイスを受けながらBPRに取り組み、その内容を局内で共有しました。

5 水道事業ガイドライン業務指標(PI)・独自指標

水道事業ガイドライン業務指標(PI)・独自指標					R4	R5	R6
指標名	【PI C201】水道技術に関する資格取得度	単位	件/人	目標値	1.51	1.51	1.51
算出式・根拠	職員が取得している水道技術に関する資格数/全職員数			実績値	1.54	1.51	1.58
指標名	【PI C202】外部研修時間	単位	時間/人	目標値	20.0	20.0	20.0
算出式・根拠	(職員が外部研修を受けた時間 × 受講人数)/全職員数			実績値	19.9	18.4	16.9
指標名	【PI C203】内部研修時間	単位	時間/人	目標値	10.0	10.0	10.0
算出式・根拠	(職員が内部研修を受けた時間 × 受講人数)/全職員数			実績値	3.8	3.2	6.6

6 視点評価及び総合評価

視点	評価項目	視点評価	視点	評価項目	視点評価
有効性	指標や目標値の達成度	B	説明 責任	意見や苦情に対する適切な対応	B
	目的に対する実施内容	A		情報発信の実施	A
効率性	業務のプロセス改善(創意工夫)	B	組織 学習	職員の知識向上のための取組み	A
	投入した費用・労力に対する成果	B		知識の伝達	A

評価理由(特記事項)

総合評価

・積極的に研修案内等の情報発信を行いました。今後も職員へ研修受講を勧めていきます。また、人事異動などを見据えて、日頃から、知識と情報の伝達に努め、更なる組織能力の向上・改善を図っていきます。

・BPRを実践し、業務の効率性・利便性を向上させました。また、その内容を局内に共有することで、職員一人ひとりが日常的にBPRに取り組む風土の醸成を図りました。

A

7 今後の実施方針等

事業を実施する上で課題及び改善方針	今後の実施方針
・今後も積極的に局内各課へ情報提供を行い、研修の受講や資格取得を促していきます。 ・引き続きBPRを実践し、職員一人ひとりが日常的にBPRに取り組む風土の醸成を図ります。	現状維持で継続